

審議会等会議録【要約版 ver】

審議会等の名称	第1回文化振興ビジョン検討懇話会
開催日時	平成30年 10月24日（水曜日）9：30～12：00
開催場所	山口市役所 第2委員会室
出席者	前田哲男（会長）、中野良寿、津田隆、大和保男、広田早苗、鈴木啓二郎、河野康志、大庭達敏、斎藤郁夫、中原豊、山本有希、磯村勇、足立明男、松前了嗣、米本太郎（敬称省略、順不同）（15名）
欠席者	松原清（副会長）、山崎伸介（敬称省略、順不同）（2名）
事務局	渡辺市長 交流創造部：江藤部長、古賀参事 文化交流課：上野課長、吉松主幹、竹内主幹、新造主事（7人）
議題	・文化振興ビジョン策定方針について ・これまでの文化政策の取り組みと市民意識について ・文化における山口市の魅力と本市の抱える課題 ・専門部会について
内容	次第に基づき以下のとおり進められた。 1. 委嘱状および出席者紹介 2. 市長あいさつ （市長は公務のため退席） 3. 役員選出 4. 会長挨拶 <審議> 5 文化振興ビジョン策定方針について 配布資料、資料1「文化振興ビジョン策定方針」について事務局から説明の後、会長の進行により審議に入った。 <委員> ー各委員とも質問等なしー 6 これまでの文化政策の取り組みと市民意識について 配布資料、資料2「これまでの文化政策の取組と市民意識」、資料3「文化に関するアンケート調査」、資料4「アンケート調査結果集計」について事務局から説明の後、会長の進行により審議に入った。 <委員> アンケートについて、地域性があるかどうかを知りたい。「山口市の中心部は住

みやすいか」というアンケートを山口市が以前とっていた。中心部に住んでいる方は中心部の利便性などがわかっているため、中心部の良さがわかるが、周辺部に住んでいる方は、中心部の良さがわからないという差が出ていた。今回の文化振興ビジョンのアンケートにおいても、中心部の方は良さがわかっているという答えの傾向にあるのか、周辺部の方々は文化的なものに参加できていないとか、良さがわからないという答えの傾向にあるのかを知りたい。

<事務局>

資料「アンケート調査集計結果」に各居住地の回答が一覧ででているので、ご覧になっていただきたい。

<委員>

この資料からは、読み取りにくかった。傾向がわかりやすい資料が出せるようであれば、お願いしたい。

<事務局>

次回、お示しできるようにしたい。

7 文化における山口市の魅力と本市の抱える課題

山口市の文化によるまちづくりに対して、委員の皆様それぞれの立場から、御意見や御指摘等を伺うということで進めた。

<委員>

「教育と文化」という観点について、もう少し書かれている部分があってもよいと思う。文化でワークショップなど、アウトリーチ的なことの強化があってもよいと思う。

<委員>

非常に高齢化が進んできている。若い人が文化活動に参画しているという実態が見えてこない。人口も段々と減ってきているということから、文化活動そのものが維持できなくなっている。

「若い人たちが、どういう形で文化に接することができるのか」ということを真剣に考えていく必要がある。

<委員>

前回のビジョンは、ある意味で、外からの目線で書かれた文章であって、鑑賞の論理であると感じた。実際に、ものを作る創作者の意見が載っていないような気がした。

<委員>

これから先、若者が山口にいて、学びたいとか、いろんなことに挑戦したいという目標をもてる「場」や「人」を作り上げていくのが、私たちの任務ではないかと考えている。見に来てくださる方が、文化に対してお金を出すという価値を見出していないように感じる。お金を出してでも見に行きたいというものがつれていないからという責任も感じている。

<委員>

前回のビジョンは、企画者側の意見が主になっていると感じているのだが、企画が魅力のあるものであれば、市民は何度でも足を運ぶと思う。制作者としてはかなり満足しているのだが、市民の方もそれで満足して、もう一度見に行きたいかという、なかなか難しい。また、自主的な活動がもう少し奨励されて、活発に活動ができるようにしたい。

<委員>

まず、1点目。中心部は今後インフラが整い、更に利便性は増していくと考えられるが、周辺部の不便な地域に住む市民の理解をきちんと得なければ、なぜ山口市は文化にこれだけお金をかけるのかと言われてしまうと思う。そのため、周辺部の市民の理解を得られるよう、そのような方々も参加しやすいような仕組みや、情報を得られるような仕組みをしっかりと考えていって欲しいと思う。

第2の視点は、大内氏の時代は、文化と国際交流を大切にした。そういうこともあって、山口市では、江戸時代になっても町民の間で文化が伝承、継承されたと考えられる。そのような舞踊や萩焼き、驚流狂言など、山口市が誇りだと思えるものを今後もどう継承していくか、ということが一番大切ではないか。

第3の視点は、若い世代をいかにこの中心部に連れてくるかということが大切ではないかと考える。

<委員>

交流人口の増大という視点から、市民がもっと文化イベントに参加し、お金を使うような仕組みをつくれるよう、そのあたりを啓蒙していただきたい。

<委員>

策定の背景として、国が定めた、「文化芸術基本法」という法律があるが、この法律の中にある「文化芸術」というのは、とんでもなく広いものをさしている。今までの芸術、メディア芸術はもちろんだが、そのほかに伝統芸能、生活文化、食文化なども含む。今までの「芸術文化」というのは一部の特別な人のものであったが、この法律によって、かなり広がったところで文化活動というのはありえるものとなる。非常に広いジャンルの「文化芸術」を盛んにして、良いまちを作

っていこうという姿勢を市が見せることは、市の活性化に繋がっていく。

<委員>

文化施設という選択肢の中に「図書館」が入っていない。図書館では展示が行われており、そのようなことも文化的な活動ではないかと思う。そういった活動も排除することなく、文化振興ビジョンの中に組み込んでいけたらと考える。

<委員>

文化芸術というのは特別なものではなく、本来はもっと身近なものであるのではないか。文化芸術が特別なものではないと思えるような、山口市になるといいなと思う。山口市はコンパクトであるので、それぞれの立場で様々な人が活動しているのではないかと感じている。

<委員>

前回のビジョンでは芸術、歴史に加えて、自然、生活の中に息づく幅広い意味での「文化」というふうに表示されている。この「文化」という言葉を私たち市民が、共有できるということが、この創造ビジョンのとても大切な役割ではないかと思う。もう一点は、文化というものを考えたときに、どのくらいまで射程距離が入るのかということ。

<委員>

今回のビジョンを描いていく上で、これからの教育の問題を基本に置いておくべき。

<委員>

アンケートの中でもあったが、山口市の山や川、海を生かしたまちづくりをしていったらよいと思う。

<委員>

どうしても伝統芸能は難しいとか、敷居が高いというイメージが先にくる。まずは触れる機会をつくる。知る機会を作るということをしないと。将来、文化に携わる人、興味を持つ人、支援をする人が担われていくのかなと思ったときに、もっと子どもたちが、地域の伝統文化・芸能に触れる機会を作るということに取り組んでいけるといいのかと。

<会長>

貴重な御意見を、皆様ありがとうございます。皆様からいただきました御意見を事務局のほうでまとめまして、また次回以降の懇話会に生かしていきたいと思

いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

8 専門部会について

配布資料、資料6「(仮称)第二次山口市文化振興ビジョン検討懇話会PJ事業検討部会(案)」について、事務局から説明の後、会長の進行により審議に入った。

<委員>

1点お願いがある。これから次のビジョンの重点的なプロジェクトなどを専門部会などで定めていくと思うのだが、ぜひ、第一次のビジョンの成果や、どのくらい達成することができたのか、また問題点などがあればそれらを整理していただきたい。それが、次のビジョンの戦略を立てるのに役立つ。文化というものは数字に表すというのはなかなか難しいのだが、この10年間で何ができたのかということをもとめていただくと専門部会で議論しやすいのかと思う。

<事務局>

検討部会までに、アンケートの分析と併せて、お示しできるようにしたい。第2回の検討懇話会でもお示しします。

<委員>

ジャンルについて、確認をしておきたい。例えば音楽やスポーツといったものについてのすみ分けをどのようにしていけばよいか。というのは、文化というものは広く言えば、音楽やスポーツも含んでいて、もう一つ言うと、オリンピックに対するパラリンピックのように、障がい者関係のインクルーシブな視点とかもあると思う。そのようなところも含めて、どのようにビジョンをまとめていけばよいか。

<事務局>

先ほど、委員のお話にもあったように、国の基本法にも文化は様々なジャンルを含んでいるということが示されている。ジャンルをどうしていくかという話は、第1回目の検討部会の前に調整をさせていただきたい。よろしいか。

<委員(専門部会長)>

また相談して進めていきたい。

9 その他

第2回会議開催について来年4月頃を予定していることを説明。

	以上で会議を終了した。
会議資料	・ 第 1 回文化振興ビジョン検討懇話会次第 ・ 山口市文化振興ビジョン検討懇話会委員名簿 ・ 配席表 ・ 資料 1：議題 5「文化振興ビジョン策定方針」の Power Point ・ 資料 2：議題 6「これまでの文化政策の取組と市民意識」の Power Point ・ 資料 3：文化に関するアンケート調査 ・ 資料 4：アンケート調査結果集計 ・ 資料 5：山口市文化振興ビジョン策定懇話会設置要綱 ・ 資料 6：(仮称)第二次山口市文化振興ビジョン検討懇話会 P J 事業検討部会(案) ・ 資料 7：前回ビジョン
問い合わせ先	交流創造部 文化交流課 TEL 083-934-2717